

2024

12

December
No. 382

広報
みしま

みしま



ふるさとの誇りを胸に — ふくしま駅伝「希望ふくしま」—

— 11月17日、第36回ふくしま駅伝に三島町の3名の選手が7町村の
連合チームである「希望ふくしま」の一員として出場し、力強い走り
で古里に元気と勇気、そして感動を与えてくれました。

福島県
大沼郡
三島町



三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。



テレサ・テン歌唱大会～ファンミーティング～



「只見線テレサ・テン号」を運行

歌碑説明



- 歌碑刻印内容
ふるさとはどこですか
小村之戀（中国語）
- センサー音響（右手設備）
ふるさとはどこですか
小村之戀（中国語）
時の流れに身をまかせ
（3曲が人感センサーにより流れます）

11月8日、会津宮下駅前広場において、テレサ・テン歌碑除幕式が執り行われました。

歌碑は、テレサ・テンが1977年にシングルレコード「ふるさとはどこですか」のキャンペーンに三島町を訪れたゆかりを後世に残すため、また、テレサ・テンが来訪するきっかけとなったふるさと運動が50年の節目を迎えた記念事業として建立されました。

式には、テレサの実兄であり、テレサ・テン文教基金会董事長の鄧長富氏、CEOの鄧永佳氏、名誉顧問の舟木稔氏はじめ、音楽関係者など多数のご来賓が出席されました。また、仙台、東京、上海などのファンクラブのメンバーの方々も式に参列して頂きました。

午後にはファンクラブの方々を中心にテレサ・テン歌唱大会が町民センターにて開かれ、テレサの名曲により自慢の美声を響かせました。

歌碑建立には寄附を募り、以下の方々より寄附を頂きました。



除幕式の様子



矢澤町長



鄧董事長様



舟木稔様



郭東京FC会長による「ふるさとはどこですか」の合唱



中国のファンクラブの皆様



東京ファンクラブの皆様

企業の皆様

滝谷建設工業株式会社 様（宮下）
佐久間建設工業株式会社 様（早戸）
早戸温泉つるの湯企業組合 様（早戸）
有限会社藤田石材店 様（柳津町）
渡辺音楽出版株式会社 様（東京都）
株式会社渡辺プロダクション 様（東京都）

舟木稔様（東京都）
加藤正人様（千葉県）
坂内孝雄様（小山）
馬場幸江様（大登）
猪俣淑江様（会津坂下町）
村松速雄様（神奈川県）
増子朋子様（本宮市）
酒井功様（宮下）
坂本公貴様（東京都）
坂本美智子様（東京都）
大橋弘二様（双葉町）
眞鍋忠男様（福島市）
布川幸治様（会津若松市）
上野博様（会津若松市）
酒井由美様（会津若松市）
藤井正之様（千葉県）

田偉様（東京都）
長谷川市雄様（桑原）
遠山直人様（東京都）
鈴木憲生様（宮下）
内川由紀様（会津若松市）
添田健次様（郡山市）
添田啓子様（郡山市）
田中智仁様（宮下）
板橋康宏様（宮下）
田村司様（宮下）
長谷川貴宏様（会津坂下町）
五十嵐正昭様（会津若松市）
佐久間源一郎様（早戸）
佐藤岩男様（会津若松市）
林弥生様（大阪府）
李燕紅様（埼玉県）
大内昌明様（郡山市）

ご寄附ありがとうございます

三島中桐陽祭 万里一空 - 目標に向かう旅路 -

10月26日、三島中学校桐陽祭が開催されました。

毎年恒例になりつつある「開会宣言を述べる権利」をかけたじゃんけん大会から大いに盛り上がり、英語弁論大会出場者のスピーチや合唱も行われました。

次に各学年の総合学習の発表があり、1年生は「日本列島ダーツの旅 三島町1億人」。2年前に放映された「ダーツの旅」の続編として、三島町の良さを町人になって紹介しました。2年生の「どうなる伸悟」は、昨年度の「どうする伸悟」の続編で、夢の中で様々な神に会い、なりたい職業を見出していく物語でした。3年生は、「サトウキビ畑の唄〜三島中バ〜ジョン〜」で、修学旅行で沖縄の戦跡を訪れ、平和講話を聞いて感じたことや、終戦から79年経った現在でも世界各地で戦争が続き、尊い命が奪われていることへの憤りを、今回の発表をとおして訴えていました。

午後は、有志によるダンスの発表などが行われ、すばらしい表現力で会場を湧かせ、エンディングセレモニーでは今年度桐陽祭のテーマ曲スキマス イッチの「全力少年」を全員で歌いました。これまで一人何役も兼ねて準備や練習をしてきた成果を十二分に発揮することができました。「自分たちで考え創り上げた桐陽祭」大成功！



桐陽祭大成功！

有志発表の様子

3年生の発表

元気いっぱい！ 三島小まつり



たくさんの方が参加した豊年踊り

11月2日、「三島小まつり」が開催されました。

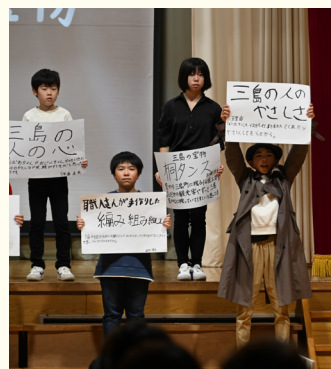
1年生の「くじらぐもが三島小にやってきた!」、2年生による「お手紙」、3・4年生による「みんなで三島町をかんこうしよう!」、5・6年生による「ルパン三世く三島町のお宝をねらえ!」が発表されました。

児童たちは日々の学習の成果を一生懸命に披露し、訪れた保護者や町民の方々からは歓声や拍手が送られました。

最後は児童だけでなく訪れた方全員で豊年踊りを踊り三島小まつりを締めくくりました。



三島小学校の皆さん



みんなが見つけた三島町の宝物



11月2日、三島町文化祭が開催されました。

れました。

文化祭は三島中特設合唱部の演奏で幕を開け、たくさん練習を重ねた「銀河鉄道999」など5曲を心を込めて歌いました。また、町民の皆様が日頃の活動の成果を披露し、舞踊やカラオケ、神楽、昔語りのステージを繰り広げました。

ゲストとして登場した大道芸人ユーチューバーL（える）さんによるジャグリングや大道芸、マジシャンの黒奇盗夜さんによるマジックや剣刺しイリュージョンが行われ、会場は驚きと拍手に包ま



作品展示では書や写真、生け花等の力作が並び、研修室では国立環境研究所による光害啓発や「環境情報3Dふくしま」が展示されました。役場前では、生活工芸館による端材積み、消防体験や町内のおいしいものの出展もあり、来場者が秋の味覚に舌鼓を打ったほか、地場産品などを買い求める方で賑わいを見せていました。

ゲストの「玄亭米多朗
師匠による落語「歳蕎麦^{としそば}」
(時そば改作)が披露され、
子どもから大人まで幅広
い世代の方が大いに楽し
んでおられました。





3区鈴木康生選手（三島中3年）から4区五ノ井浩選手（金山町出身）への襷渡し



▲鈴木康生選手



▲北館亮選手



▲鈴木優介選手

第36回ふくしま駅伝は11月17日、白河市と福島市の16区間、96・3kmのコースで繰り広げられ、三島町は、7町村（三島、金山、檜枝岐、湯川、昭和、川内、葛尾）の連合チームである「希望ふくしま」の一員として参加しました。12回目の出場となる「希望ふくしま」は、総合34位（5時間53分42秒）でゴールしました。

町からは、3名の選手が出場し、3区の鈴木康生選手（三島中3年）は、昨年度も7区を走っており、1年間少しずつ練習を重ね、実力を伸ばし、期待どおりの力強い走りを見せました。

13区は会津美里町出身の鈴木優介選手（三島町役場産業建設課）が走りしました。中学高校6年間陸上部に所属しており、中学時代には全国大会に出場した実力者で、1年間のブランクを感じさせない

軽快な走りを見せました。16区の監督兼選手の北館亮選手（三島町役場総務課）は、駅伝は地域おこしだと語っており、アンカーとして粘り強い走りを見せゴールの際には希望ふくしまのゼッケンに指をさし、古里の誇りを胸にゴールしました。

なお、選手の皆さんは学業や仕事の合間をぬって、個人練習だけでなく合同合宿も行っていました。その結果「希望ふくしま」の目的である、古里の誇りを胸に力強い走り、たすきを胸につなぎ、町民に元気、勇気、感動を与えてくれました。

振り返る 地域循環コラム ～ 森林資源の利活用の必要性は？ ～

町では、以前から森林などの地域資源を活用した環境と調和した町づくりを進めており、現在も「三島町地域循環共生圏推進協議会」にて、地域資源の利活用に関する取り組みを検討しています。

また、令和4年5月1日には、2050年までの町内二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す「三島町ゼロカーボンビジョン」を策定し、同月26日には「三島町2050ゼロカーボン」を宣言しました。

さて、今回は振り返りということで、地域循環やゼロカーボンの取り組みでもよく話に上がる森林資源の利活用について、そもそも何故そのような取り組みが必要なのか改めてお伝えしたいと思います。

■なぜ森林資源なのか？

町の総面積の約9割が森林ということで、町で採れる豊富な資源となります。さらに、管理ができていない森林が増え、伐採適齢期を迎えた森林も数多くあります。このことから森林資源の積極的な利活用が求められています。

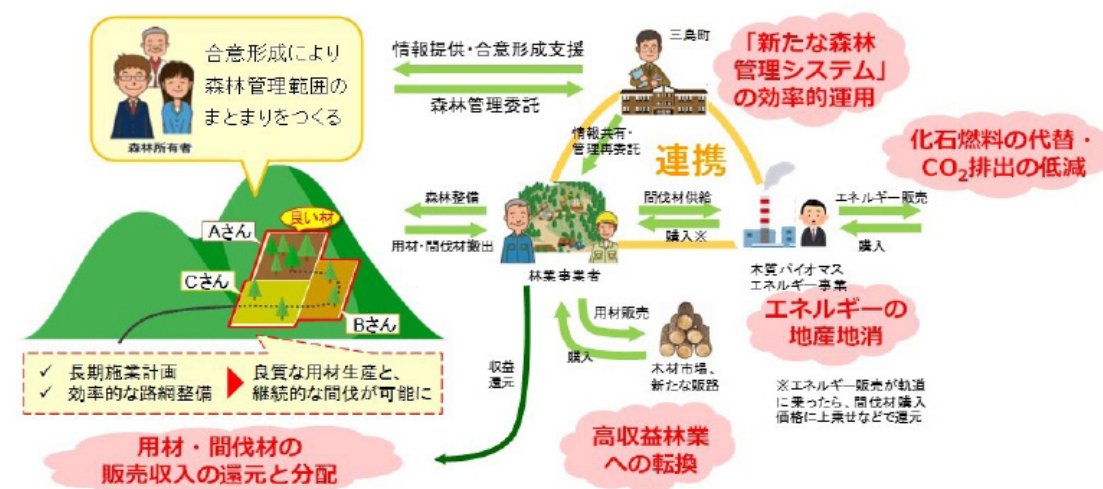
■森林の管理は必要か？

森林を管理せずにそのまま放置してはいけないうのか？ということも聞きますが、そのことによって災害リスクが高まり、私たちの生活の安全面に関わってきます。間伐や枝打ちをしないことで、光が入らずに林床の下草が育たない森林となり、土石流が発生しやすい状態になる、とよく言われています。さらに土石流の発生による河川の荒廃等によって、水資源にも影響があるとも言われています。

■町の方向性について

適切な森林を管理していくことは、木材としての価値が上がる以外にも防災面の向上や水資源を育むなど、多様な価値を生み出すため、森林整備を進めていく必要があります。そして、その森林整備で搬出した木材の利活用も重要になっており、建物の用材や合板材で利用できないものは、エネルギーの燃料として利用し、余すことなく資源を活用していく方向で検討しています。

森林資源を活用した三島町地域循環のイメージ



「三島小・中学生が英語駆使し 異文化理解！」 ～天栄のブリティッシュ・ヒルズで英語体験研修～

三島町教育委員会の事業で、小学5・6年生と中学生全学年が、英語教育、異文化体験研修として天栄村にある「ブリティッシュヒルズ」で研修しました。

イギリスの伝統的なお菓子スコーン作りを体験したり、英語で書かれたヒントをもとに、先生を見つける活動を行いました。また、世界の国々について英語で学び、最後には自分たちで英語で紹介していました。施設内では英語しか使ってはいけないルールなので、学校で学んだ英語を積極的に活用してコミュニケーションを成功させ研修の成果を見せることができました。

「第2回 ふくしま三大鶏フェス in 川俣町」 会津地鶏と三島町の特産品を PR

10月26・27日、ふくしま三大鶏フェスが川俣町で行われました。このイベントは福島県内の三大鶏（会津地鶏・川俣シャモ・伊達鶏）のブランド力向上や消費者へのPRを図るべく、三島町・川俣町・伊達市が連携し、昨年7月には当町の美坂高原で第1回目が開催されています。三島小の7名の子どもたちが参加し、5mの竹串に会津地鶏を刺していき、伊達市と川俣町の子どもたちと計15mの焼き鳥を見事完成させました。

町からは会津地鶏だけでなく、かすみ草や蜂蜜、編み組体験など町の特産品や伝統工芸品など多くのものが並びました。また、会場では三大鶏の団子スープもふるまわれ、多くの方がおいしい味を堪能していました。

年末年始も火事に注意！

訪問防火診断及び防犯指導の実施

11月10日、秋季火災予防運動に合わせて三島町消防団による防火パレードが実施されました。寒さが身に染みる季節が到来し、暖房器具などが利用され始め、より一層の注意が必要です。

11月11日には町消防団による高齢者世帯等を対象とした防火診断及び防犯指導を実施しました。会津坂下消防署三島出張所、会津坂下警察署三島駐在所、東北電力㈱会津若松電力センター、消防団、民生児童委員の皆さんのご協力のもと、火気の取り扱い場所、暖房器具等の点検及び指導を行いました。

「三島町から火災を出さない」を合言葉に火の始末をきっちりして新年を迎えましょう。



▲研修に参加した生徒の皆さん



▲英語のレッスン



▲特産品販売の様子



▲三大鶏フェスに参加した三島小の児童



▲三島町消防団による防火点検の様子



▲防火・防犯診断の様子

「いじめをなくすには、どうしたらいい？」 三島小学校で人権教室

三島小での人権教室は7月11日、5年生と6年生を対象に行われました。三島町人権擁護委員の本名光子さん（西方）、渡部繁信さん（大石田）が講師を務め、誰もが生まれながらに持つ権利である人権について講話しました。児童たちはSNSでのいじめをテーマとしたアニメを見て、登場人物の気持ちについて話し合い、相手の立場や考えを理解することを学びました。また、いじめを受けてしまったときのSOSの出し方や相談する窓口についても委員から紹介されました。

「江戸時代の古道を歩く！」

第9回沼田街道トレッキング開催

11月9日、江戸時代の古街道を巡るトレッキング実行委員会主催の沼田街道トレッキングが開催されました。江戸時代に会津若松と群馬県の沼田を結ぶ、交易路としての役割を担った古街道「沼田街道」を歩きました。JR滝谷駅を出発し、^{がんこくじょう}巖谷城や丸山城といった山城址などを巡りながらJR会津宮下駅まで歩き、三島町の美しい自然と触れ合いました。

スタッフ含めて計30名の方が参加し、約10kmに及ぶ道のりの中で各々歴史を感じながらトレッキングを楽しみました。



▲三島小で行われた人権教室



▲巖谷城につながる街道



▲トレッキングに参加された方々

故 栗城徳光さんに叙位伝達

元町議会議員で令和6年7月3日に満94歳で亡くなった栗城徳光さん（宮下）に叙位が発令されました。会津地方振興局の本田伸雄局長が9月26日、宮下の自宅を訪れ、長男の栗城佐武郎さんに伝達しました。徳光さんは昭和55年5月に町議会議員に当選以来、平成24年5月までの通算8期32年にわたり在職し、町づくりに尽力しました。議員退任後の平成25年春の叙勲で旭日双光章を受章しており、亡くなったことを受け今回の叙位発令となりました。



▲長男の栗城佐武郎さん（中央）に会津地方振興局の本田伸雄局長から叙位が伝達された

「春日神社冬囲いと清掃活動」(11月3日)

阿部 和彦さん(杵原)

午前7時、杵原地区春日神社境内の冬囲いと観音様及び周辺町道の落葉清掃が26名の参加により、手際よく実施されました。作業は約1時間で終了し、来年4月末の撤去作業まで冬支度です。その後、役員6名で「歳の神」に使用する萱を刈り、軽トラックで境内まで運んでシートで囲い保存しました。また地区の側溝を流れる水量を確保するため、沢の入り集水樹の砂上げを行い、全作業を終え解散しました。

これからの5カ月間、奥会津は厳しい冬を迎えますが新そば会・初詣・新年会・鳥追い・歳の神と楽しい行事も待っています。作業活動に参加された皆様、年々少なくなる人数のなか大変お疲れ様でした。



大林管理棟とふるさとセンターを豪雪から守る冬囲い作業(11月10日) 本名 与四郎さん(西方)

11月10日の午前8時より大林公園管理棟の冬囲いと「かたくり・さくらまつり」に使用された案内図看板や鳴ヶ城跡の標識板などの撤去作業が行われました。

今朝より天候に恵まれ、朝日が眩しく射しましたが冬型寒気団が東北、関東地方を包み込んだために気温が一段と下がり、肌寒い中での作業となりました。西方区長の五ノ井隆一さんを中心に、地区委員の皆さんが参加して作業がスムーズに行われました。落とし板が新しくなり外観が明るくなりました。

その後、ふるさとセンターに移動し、冬囲いが開始されました。鉄管パイプを縦と横に組み合わせるための接続プラグやジョイントを付け合わせながらの作業から始まりました。毎年行われているものの、バランスが不均衡になるなど時間のかかる作業となりました。冬囲い作業が終了したのは、お昼の12時を過ぎていましたが、役員の皆さんが最後まで黙々と作業する姿が印象的でした。

二十四節気の一つである「立冬」も過ぎて、朝晩の冷え込みがさらに増し、西方地区の山里でも、いつ、雪が降りをはじめてもおかしくない時節となりました。まもなく雪に閉ざされる奥会津の冬に備えた恒例の作業となりました。

「ガラス戸を 雪から守る 落とし板 バタンバタンと 里へと響く」
「冬囲い 見栄え気にする プロの技」



早戸地区の伝統行事「虫供養」(11月11日)

橋本 光五郎さん(早戸)

早戸地区の伝統行事である「虫供養」が、午後1時30分から行われました。本来の祭りの日は11月10日ですが、三島町小学校3・4年生が「伝統行事体験」として参加してくれる関係から、小学校の予定に合わせ月曜日の11日に変更して実施したものです。

当日は3・4年生の15名が参加してくれました。そして、今回、区長発案で初めての試みとして、参加してくれた小学生全員が1回は鉦を撞く事ができるように、交代で鉦を撞きながら集落入り口の早戸生活改善センターから虫供養碑まで歩いてもらいました。

集落の人口が減り、高齢化が進み集落入口から虫供養碑まで歩く方が次第に少なくなる中、少し新しい形を取り入れてみるのも、伝統行事を継続していくためには必要なことかも知れません。



地域おこし協力隊

活動誌

イノシシの生態調査

鈴木 亮

皆さん、こんにちは。鳥獣対策専門員の鈴木です。

早いもので、今年も残り1カ月を切ってしまいました。私の今年1年は昨年同様、獣たちに振り回される1年でしたが、昨年からは今年6月頃まで人里に出没していたクマたちは年末に近づくにつれ姿を見せなくなりま

した。
今年は山の中のドングリなどが豊作だったというのも理由の一つだと思いますが、私は人里の変化も大きかったからだと思っています。私の知る限りでも電気柵の設置や柿の木などの伐採、クマが来る前に柿の実を落とすといった対策をしている方々がいらつしやいました。こういった環境の変化は確実にクマに影響を与えたと思います。来年はクマがどのように行動

するか分かりませんが、町をクマから守るため、皆さんと力を合わせて取り組んでいきたいと思っています。

さて、今回の私の研究発表はこのクマについてです。イノシシを捕獲するため、山の中に米ぬかを撒いていたところ、米ぬかの上で転げまわるクマの姿が撮影できたのでご紹介します。このような行動をする理由は調べてもわかりませんが、強い匂いのする杉の木などに体をこすりつける習性があるらしいので、米ぬかの匂いが気に入って体にこすりつけたのかもかもしれません。

普段の凶暴なイメージとかけ離れた姿を見てほっこりしていたら幸いです(笑)



すずき りゅう 鈴木 亮 さん



① イノシシをおびき寄せるためにまいた米ぬかに、招かれる客＝クマがやってきました。最初は米ぬかを食べていましたが…



② 匂いが気に入ったのか、米ぬかの山に頭を突っ込み、ゴシゴシとこすりつけ始めました。心なしか気持ちよさそうに見えます。



③ 頭の次は背中です。丸い体で転げまわる姿からは、猛獣らしい迫力は感じられません。



④ ふと冷静になったのか、カメラと目が合った瞬間です(笑) 全身が米ぬかにまみれて真っ白になってしまいました。

お酒(アルコール)について 考えてみましょう！

vol.97
健康で元気な毎日！
町民課保健福祉係 ☎ 48-5565

12月に入り、忘新年会、クリスマス、年末年始など何かとお酒を飲む機会が増える時期です。
この機会にお酒（アルコール）について、考えてみましょう！

酒は百薬の長？

故事ことわざ辞典によると「酒はほどよく飲めばどんな薬より効果がある」と記されています。実際に少量のお酒であれば、善玉コレステロール（HDL）が増え、血液が血管の中で詰まりにくくなるという効果もあり、心筋梗塞や狭心症などを予防する効果も認められています。

一方で、飲酒量が増えるにしたがって、脳出血やくも膜下出血などの脳血管疾患を発症する危険性が高くなるという研究結果が出ています。そのため、適量の飲酒が大切となります。

また、体質的に全く酒を受け付けられない方もおり、全ての人に「酒は百薬の長」と言う効果が当てはまるわけではありません。

一日のアルコール摂取の基準量は？

厚生労働省は「節度ある適切な飲酒の量」として、「純アルコール量で約 20 g」と提言しています。これは日本人や欧米人を対象にした研究で**男性については1日当たり純アルコール 10～19 g**で、**女性では1日当たり 9g**までで最も死亡率が低く、1日当たりアルコール量が増加するに従い死亡率が上昇することが示されていることから、国が定めたものです。女性やアルコールの代謝能力が低い方は 20 g よりも少ない量を推奨されます。また、酒を飲む習慣のない方に無理に勧めるものではありません。お酒を飲まれる方は健康を意識して飲酒してみましょう！！

主な酒類の換算の目安

お酒の種類	ビール (中瓶1本 500ml)	清酒 (1合 180ml)	ウイスキー・ブランデー (ダブル 60ml)	焼酎(35度) (1合 180ml)	ワイン (1杯 120ml)
アルコール度数	5%	15%	43%	35%	12%
純アルコール量	20g	22g	20g	50g	12g

図書のご案内

町民センターゆめぽけっと

- 利用時間
月～金 午前9時～午後9時
土・日・祝 午前9時～午後5時
- お休み
年末年始
- 公民館 ☎ (48) 5599

●今月のおすすめ

なぜ彗星は夜空に長い尾をひくのか

渡部 潤一 著

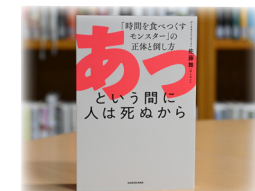
本書では、紫金山・アトラス彗星をはじめ、ハレー彗星、ヘール・ボップ彗星、マックノート彗星など、歴史に残る大彗星などを例に、会津出身の国立天文台の渡部潤一さんが、彗星の起源やその軌道、尾がのびる仕組みや見え方など、科学的メカニズムについて詳しく解説します。

●図書の紹介



認知症世界の
歩き方

筧 裕介 著



あつという間に
人は死ぬから

佐藤 舞 著



大学的福島ガイド

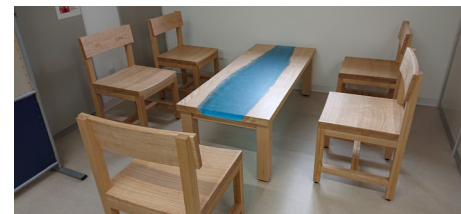
福島大学行政政策学類 編

「会津宮下駅と食鳥処理施設応接スペースに会津桐製品設置」

- 会津桐魅力向上事業 -



▲会津桐製品の展示会



▲食鳥処理施設に設置された桐製品



▲会津宮下駅舎内に設置された桐製品

今年度の森林環境譲与税を活用した会津桐魅力向上事業で会津宮下駅と食鳥処理施設に会津桐製品を設置しました。会津宮下駅舎内にはテーブル、ベンチ、本棚、ラック等を設置して、駅舎内が会津桐製品で明るくなり、利用者にも好評でした。また、食鳥処理施設の事務所内応接スペースにテーブルとイスを設置しました。両施設に設置したテーブルについては、植物性樹脂（レジン）により、只見川をイメージし会津桐の一枚板です。10月23日㊦には町民センター大ホールにおいて、これら会津桐製品の展示会を開催し、町民の皆様にご覧いただきました。まだご覧になっていない方はぜひ両施設に足を運んでみてはいかがでしょうか。

●特命担当課 ☎ (48) 5232

伝統的工芸品全国大会への出展 - 工芸エキスポ in 石川 -



販売の様子

11月8日～10日㊦㊧㊨の3日間、石川県で行われた伝統的工芸品の全国大会に奥会津編み組細工を出展しました。

この大会は、経済産業省が伝統的工芸品への理解と普及を目指し、毎年11月を伝統的工芸品月間として全国各地で開催しているものです。

会場は兼六園や金沢市役所の近くにある“しいのき迎賓館(旧石川県庁)”と“金沢21世紀美術館”で行われ、町からは奥会津編み組細工の販売と山ブドウストラップの製作体験を行いました。全国からは39の伝統的工芸品産地の出展があり、販売や体験、実演が行われたほか、全国の伝統工芸士の作品が展示される“日本伝統工芸士会作品展”が開催され、多くのお客様で賑わいました。また、生活工芸運動友の会の研修として、会員の方々も訪れ、全国の工芸品を見学し、製作の励みとしていました。

- 伝統的工芸品とは -

主要な工程が手づくりであること、100年以上前からつくり続けられていることなどを条件に経済産業大臣が指定する工芸品。全国では243品目の登録があり、その内福島県では当町の奥会津編み組細工をはじめ、会津塗、大堀相馬焼、会津本郷焼、奥会津昭和からむし織の5品目が指定を受けている。



▲イベント案内



▲しいのき迎賓館正面



▲ストラップづくり体験会場

●三島町生活工芸館 ☎ (48) 5502

工芸館だより ㊩ ものづくりの伝承



国環研だより 第76回

拠点長の表敬訪問&三島町文化祭に参加

三島町のみなさま、こんにちは。今回は我々、福島地域協働研究拠点のメンバーが三島町に訪問した際の二つの出来事を紹介します。

■福島拠点長の表敬訪問

今年の7月から福島拠点に根木桂三拠点長が着任したことを受けて、10月28日に矢澤町長への表敬訪問のため町役場に伺い、三島町の取組や再生可能エネルギーの活用などについて意見交換を行いました。その後は、生活工芸館はあいにくの休館日でしたので裏手にある薪ボイラーや、その薪ボイラーで使われる薪を準備している薪割りの現場を偶然通りがかることができたので、その様子を見学するなど充実した訪問になりました(お昼は双葉食堂でいただきました)。

■三島町文化祭出展

11月2日、「三島町文化祭」に、福島拠点が昨年に引き続き出展しました。場所は町民センター2階の研修室で、地域政策課が行った星空保護の展示と合わせて「3Dふくしま」を展示しました。前回ご紹介した環境創造センター見学バスツアーでも、子どもたちに福島県の環境と地形との関係について学んでもらいましたが、今回は町が進めている美坂高原の夜空とのコラボとして、福島県の光害(ひかりがい)マップを追加しました。「3Dふくしま」に映し出されたマップを見てみても、三島町は光害が少なく、きれいな星空を観察しやすい環境だということがわかります。

また、今回は新たに平成30年度～令和5年度までのツキノワグマの目撃報告があった地点をマップに落とし込んだデータを用意しました。令和5年度のデータを見てみると、県内各地で非常に多くの目撃情報が寄せられていることがわかるのですが、福島市や郡山市などの方々にご説明すると、「県内でクマがそんなに多く出没しているのか」と驚きの声が多数聞かれる中、三島町の皆さんからは「クマが多いなんてことは当たり前」「目撃しても報告しないこともあるのでもっといい」などの反応をいただき、同じ県内でも地域性があることが改めて分かり、大変興味深いと感じたところです。

調査や研究以外でも、プライベートで行事やイベントに福島拠点のメンバーが参加することがありますので、もし町中で見かけることがありましたら、ぜひお気軽にお声がけください！

コミュタン福島にも遊びに来てね！



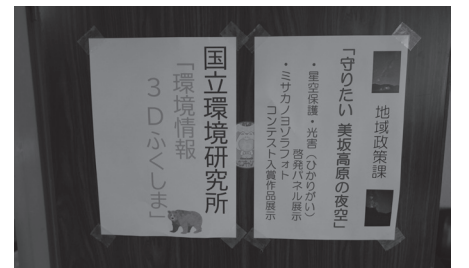
問 国立環境研究所福島地域協働研究拠点
地域環境創生研究室 ☎ 0247 (61) 6572



▲町長室で意見を交わし合う
根木拠点長(左)と矢澤町長(右)



▲工芸館の薪ボイラーを見学



▲町民センター研修室で地域政策課の
星空保護と福島拠点の3Dふくしまを展示



▲あまり見かけなかったイノシシが三島町で
近年増えていると教えていただきました。



筆者 常盤 達彦

町史編さん室だより

第107回

宮下の大火とその復興(1)

「ご家庭に古い文書や写真などがございましたら、交流センター山びこへご連絡ください。」

☎(52)2165

昭和17年(1942)4月11日、日本発送電の合宿所から出火し、後に「宮下大火」などと呼ばれる大火災が発生しました。令和6年現在も、宮下ではこの4月11日に無火災祈願祭が執り行われています。

宮下の大火については、当時の写真や資料が比較的多く遺っています。今回は宮下村の役場日誌の記述から、大火発生から20日間の経過を確認していきます。

まず大火当日の記事には

「本日午後四時十分 日発合宿所風呂煙突ヨリ発火 折柄ノ烈風ニテ大火トナリ全村ノ大部分焼失セリ 午後六時半鎮火ス 全焼戸数一一八戸 棟数一一棟 非住家七五戸 半焼非住家二二戸 幸へ役場 学校ハ類焼ヲ免レタリ」

「各地ヨリノ警防団其他ノ努力ニヨリ夜警力メタリ 高田 坂下柳津等ヨリ瓦斯倫ポンプ来リテ鎮火ニカメル 高田警察署長若松警察署 検事局 出張セラル」

と出火元や出火時間、被害状況、村内外からの警防団(以前の消防組、後に消防団となる戦時中の組織)による鎮火活動などが記載されており、瓦斯倫

ポンプ車も出動したことがわかります。12日には(4月1日に西川村・原谷村・三谷村が合併し宮下村が誕生したばかりであったため)、旧西川村外二ヶ村組合の議員や区長を集めて協議会を開催、同時に隣村や県からの応援とともに、宮下の地区民が焼け跡の片付けに全力を尽くしていることがうかがえます。焼けてしまった宮下巡査駐在所、宮下郵便局は役場内に臨時に設置されることになりました。役場の二瓶貫一村長(当時臨時代理者、選挙を経て6月13日に正式に村長)をはじめ、吏員は見舞客への対応、罹災援助金の受付、罹災者保護や物資の配給などを行っています。13日には「焼跡モ本日夕方迄大体形付キタリ」とあり、当日は日本発送電本社から部長が見舞金を持って来村、仮小屋建築についての協議もはじめています。14日にも日本発送電本社、飛鳥組の重役が見舞金を持参しており、また土蔵の仮屋住まいもできるようになったとあります。この日は御見舞品が「山ノ如ク」「感激ニ涙ス」ほど持ち込まれたようです。まず衣類の第1回配給が行われてい

ます。この日は御見舞品が「山ノ如ク」「感激ニ涙ス」ほど持ち込まれたようです。まず衣類の第1回配給が行われてい

ます。15日には仮小屋建築も始まり、16日には県町村長会副会長が大沼郡各町村の罹災金を持参、また宮下地区、元組合会議員、区長による協議会を開催、常任の臨時委員を設置しています。17日には北会津郡町村長会長が各町村の罹災金を持参、この日には仮小屋も約3分の1が建築されたとあり、記事には所感として「復興ノ意気旺盛ナリ」とあります。18日には仮小屋へ移り住む者もあり仮小屋から煙が昇ったと記事にあり、また日本発送電本社からの見舞金の割当をし、翌19日に罹災者に贈呈しています。この時点での日本発送電本社以外の見舞金は約2万4000円との記載があります。



▲昭和17年4月12日か 大火後の宮下
(宮下 酒井 佐一氏 提供)

していたため、校庭において略式で挙行されたと記されています。

このように、役場日誌からは、後日まとめられた資料では不明確な、近隣町村からの応援も含めた消火活動、焼失後の片付作業、罹災者への見舞品の受け入れとその配給、仮小屋の設置・移住、援助金の受付・贈呈、復興に関する協議会等の開催など、大火発生から20日間の詳細な動きが読み取れます。

※引用文のルビは筆者によるもの
(町史編さん室)

町からお知らせ

ご寄附ありがとうございました（10月分）

ふるさと納税

河野 廣 様（神奈川県）
皆川 潔 様（石川県）
小松 義弘 様（埼玉県）

寄附件数 30 件 計 558,300 円

12月分納税のご案内

【納期限 12月25日（水）】

- ▼ 固定資産税（第3期）
 - ▼ 国民健康保険税（第5期）
 - ▼ 介護保険料（普通徴収）（第5期）
 - ▼ 後期高齢者保険料（普通徴収）（第5期）
- 忘れずに納付してください。

☎町民課 町民係 ☎（48）5555

お悔み申し上げます

※ 目黒民男 様（97才・滝谷）
目黒正廣 様（86才・滝谷）

お知らせとお詫び

9月13日ご逝去された目黒民男 様のお悔み掲載の遅れについて、お詫び申し上げますとともに、本号広報みしま12月号に掲載させていただきます。

☎地域政策課 地域政策係 ☎（48）5533

町の人口と世帯（11月1日現在）

人口	1,336	増減数	-3	出生	0
男	679		0	死亡	1
女	657		-3	転入	0
世帯	676		-2	転出	2

※住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

社会福祉協議会より

間方いきいきクラブ

12月18日（水）
午前10時から
間方集会所

高清水・小山
いきいきサロン

12月24日（火）
午前10時から
高清水集会所

サロンないり

12月25日（水）
午前10時から
名入集会所

ほがらかサロン

12月25日（水）
午前10時から
森の校舎カタクリ

桧原はつつクラブ

1月9日（木）
午前10時から
桧原集会所

ひまわりサロン

12月9日（月）
午前10時から
町民センター

浅岐あったかサロン

12月10日（火）
午前10時から
浅岐集会所

サロンなごみ

12月12日（木）
午前10時から
西方ふるさとセンター

大登サロン

12月16日（月）
正午から
大登生活改善センター

滝谷和楽塾

12月17日（火）
午前10時から
滝谷集会所

町社会福祉協議会へのご寄附
（ご遺志によるもの）

目黒民一 様（滝谷）
目黒広文 様（滝谷）
目黒忠昭 様（滝谷）

町社会福祉協議会へのご寄附
（一般のご寄付）

会津ヤクルト販売（株）

☎社会福祉協議会 ☎（52）3344

愛ばんしょ外来からのお知らせ

三島町ケーブルテレビ三島通信で
「健康教室」を放送中です。

12月は、「胃がんとピロリ菌」です。
ぜひご覧ください。

☎福島県立宮下病院 ☎（52）2321



消防署からのお知らせ

年末年始特別警戒 12月15日～1月15日

年末年始は、あわただしさから火の取り扱いがおろそかになりがちです。お出かけ前やお休み前には火の元に十分注意し、火災のない年末年始を過ごしましょう。

また、除雪作業時の事故も起きやすい時期です。除雪をする際は、家族や近所にその旨を伝えてから作業を行ってください。

万が一のことがあった場合にすぐ連絡できるよう、携帯電話を持って作業しましょう。

＜消防水利の除雪のご協力ありがとうございます＞

町民の皆様には、日頃より自宅近くの消火栓や防火水槽の除雪にご協力いただき、心より感謝申し上げます。

消火栓や防火水槽は、火災時に重要な水源となりますので、今後とも皆様のご協力をよろしくお願い致します。

また、付近への雪寄せや盛り上げ、駐車等は行わないようご協力ください。

☎会津坂下消防署 三島出張所
☎（52）3032 / FAX（52）3033

マイナ救急実証事業の期間延長について

会津若松消防本部では、救急車を必要とする傷病者本人の同意を基本として、マイナ保険証を活用して通院履歴や服薬情報等を把握し、救急業務を円滑化、迅速化します。

＜マイナ保険証を活用するメリット＞

- ・傷病者本人の情報を正確に伝えられる。
- ・病院の選定や搬送中の応急処置を適切に行える。
- ・搬送先病院で治療の事前準備ができる。

＜実証事業の概要＞

【期 間】2025年3月31日（月）まで
【実施救急隊】会津若松消防本部の全救急隊

特設サイト QR



＜必要な準備＞

- ・マイナンバーカード
- ※ マイナ保険証の利用登録が必要です

マイナ保険証の利用登録はこちらから▶



☎会津若松消防本部 警防課 ☎0242-59-1402

会津坂下警察署からのお知らせ

闇バイトにご注意！

～知らなかったでは済まされない！～

犯罪行為で利益を得る、いわゆる「闇バイト」は、アルバイトではなく、紛れもない犯罪行為です。

闇バイトの勧誘を行っている犯罪者グループは、約束の報酬を元から支払うつもりはなく、応募者は、「使い捨て」要員で、最初は簡単な案件を紹介されて報酬が支払われたとしても、それは「あなた」を信用させるための「餌」なのです。

その後、凶悪な犯罪に加担するよう求めるようになり、要求を断ったり離脱しようとしたりすると、入手した個人情報を基に執拗に脅迫し、恐怖心を植え付けて離脱を阻止し、「あなた」が警察に逮捕されるまで利用し続けます。

中には、犯罪かもしれないと思いながら応募する人もいます。「ホワイト案件」、「荷物運び」などといった募集の言葉を理由に、犯罪行為ではないと「あなた」は「あなた」自身に言い訳をしていませんか。

知らなかったという言い訳は警察には通用しません。警察は必ず捕まえます。逃げることはできません。強盗を指示されて、人を負傷させたときは「無期又は6年以上の懲役」（強盗致傷罪）、人を死亡させたときは「死刑又は無期懲役」（強盗致死罪）となります。

また、「銀行口座を開設して売り渡す」「スマートフォンを契約して売り渡す」行為も犯罪です。その後、預貯金口座などを利用できなくなるなど、これまでの日常生活が一変します。



怪しいと思う募集情報には
一切応募しないでください！！

☎会津坂下警察署警務係 ☎0242（83）3451

『撮』っておきのみしま町 フォトコンテスト

左記について、応募作品 73 点 (34 名) の審査が
11 月 22 日に行われ、下記のとおり賞に選ばれました。

応募作品は、交流センター山びこにて令和 6 年 11 月
30 日から令和 7 年 2 月 24 日の期間展示いたします。

☎ 交流センター山びこ ☎ (52) 2165



▲《三島町長賞》

「願いを込めて」
佐藤 眞吾 (会津若松市)



▲《三島町教育委員会教育長賞》

「三島のサイノカミ」
荻野 二三子 (郡山市)



「ライトアップ」
佐久間 優子 (三島町)

▲《三島町写真クラブ》

『写団・道奥21』会長賞

三島町文化協会長賞	「団扇太鼓を叩く男」 児山 昭一 (会津若松市)
福島民報社賞	「静寂な只見川を進む」 宮本 弘文 (千葉県)
福島民友新聞社賞	「月あかりの街」 布川 芽依 (三島町)
JR只見線車窓からの眺め賞	「線路は続く」 鈴木 孝二 (会津若松市)
交流センター山びこ賞	「見守る」 薄葉 義彦 (会津若松市)
交流センター山びこ賞	「春風」 佐山 勝信 (会津若松市)
交流センター山びこ賞	「雪の朝」 大峽 秀明 (山形県)
交流センター山びこ賞	「春爛漫・カタクリと桜の共演」 古内 サダ子 (南相馬市)

そのほか入賞された方々▶

町長日記

「挫折と回復」

No. 101

町長日記の執筆を休んでいた間、昭和場に車を置き、川沿いの道路を沈黙が支58年に亡くなった日本を代表する文芸評論家、小林秀雄の「様々な意匠」や他分野の本を読みながら自己を振り返ってみました。この数ヶ月で読んだ本の中で特に印象に残っているのは、小林秀雄は勿論ですが岡本太郎の「自分の中に毒を持て」という本の表題の一節が目に残りました。「いのちを賭けて運命と対決するのだ。そのとき、切実にぶつかるとは己自身だ。己が最大の味方であり、また敵なのである。」という一節を読み返し、結局人に笑われようがバカにされようが自分が生きている手ごたえをもつことがプライドなんだ、という生き方がぼんやりとした境地になりました。そのほか吉本隆明や様々な作家から学び、ことのほか心が安定し、のんびりした生き方の方向性を見つけたところです。先月逝去された詩人の谷川俊太郎さんの20億光年の孤独という詩の一節で「万有引力とはひき合う孤独の力である」や吉原幸子さんの「昼顔」も非常に印象に残っています。

数年ぶりに、友人の誘いもあり秋の紅葉を観ながら喜多方市山都町の飯豊山の登山口にありますが「いいでの湯」の駐車

町長日記の執筆を休んでいた間、昭和場に車を置き、川沿いの道路を沈黙が支58年に亡くなった日本を代表する文芸評論家、小林秀雄の「様々な意匠」や他分野の本を読みながら自己を振り返ってみました。この数ヶ月で読んだ本の中で特に印象に残っているのは、小林秀雄は勿論ですが岡本太郎の「自分の中に毒を持て」という本の表題の一節が目に残りました。「いのちを賭けて運命と対決するのだ。そのとき、切実にぶつかるとは己自身だ。己が最大の味方であり、また敵なのである。」という一節を読み返し、結局人に笑われようがバカにされようが自分が生きている手ごたえをもつことがプライドなんだ、という生き方がぼんやりとした境地になりました。そのほか吉本隆明や様々な作家から学び、ことのほか心が安定し、のんびりした生き方の方向性を見つけたところです。先月逝去された詩人の谷川俊太郎さんの20億光年の孤独という詩の一節で「万有引力とはひき合う孤独の力である」や吉原幸子さんの「昼顔」も非常に印象に残っています。

数年ぶりに、友人の誘いもあり秋の紅葉を観ながら喜多方市山都町の飯豊山の登山口にありますが「いいでの湯」の駐車

その時持参していた「様々な意匠」の「雲が雨を作り雨が雲を作る様に、環境は人を作り人は環境を作る」という一節が印象に残っています。

三島町長 矢澤 源成